

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第62日

攻撃を受けている都市 月曜日、ロシア軍は全国の鉄道を激しく攻撃しました。兵器の供給を停止するためです。鉄道員の一人が殺されました。黒海がブロックされているので、鉄道はとても重要なインフラストラクチャーの一部になっています。火曜日の朝、ザポリージャ市は砲撃を受けました。ウクライナ防衛省によれば、ロシアにとってザポリージャ市は重要な目的になっています。ハルキウ市も砲撃を受け続けます。民間人は4人殺され、4人が負傷しました。ハルキウ州には5人の負傷者もいます。4月25日、ドネツク州のリマンでは子供の二人がころされました。ルハンスク州は17回砲撃を受けました。ヘルソン市とドネツク市で爆発の音が聞こえました。

マリウポリ市 月曜日、マリウポリ市からの人道回廊は立ち上げられませんでした。ロシアは避難のために砲撃を止めることを断りましたので、人道回廊の合意が不可能になりました。したがって、ウクライナは国際連合の協力を求めています。ジャーナリストはマリウポリ市の近くで3つ目の集団墓地を見つけました。衛星画像で発掘された塹壕を確認できます。塹壕はロシアの占領後、墓地に現れました。3月24日から長さが50~60メートルから200メートルに増加しました。ウクライナ保安庁はロシアがアゾフスタリ製鉄所にいるウクライナ兵士と一般市民に対して化学兵器を使用するつもりだと発表しました。ロシア軍の被害を極力避けるためです。ウクライナ軍は降伏しませんので、ロシアはウクライナ軍人をアゾフスタリから焼き出したいです。

占領を受けている都市 ヘルソン市長イゴール・コリカエフはロシア軍はヘルソン市役所を奪取したと報告しました。ヘルソン市が占領されたのは3月ですが、今まで市役所などが働き続けました。ロシア軍はヘルソン州のベリカ・オレクサンドリブカ市民を家から追い立てます。占領されたザポリージャ州のメリトポリ市、ロシア軍は「徴兵」を行うため、出さなず町をブロックしています。市長によれば、市民は避難計画をロシア軍に報告することを求められます。

人権。ロシアの侵略に続いて、ウクライナの家族の大規模な内部避難は、脆弱な子供たちにとって不安定な状況をもたらしました。ロシアへの強制送還と違法な養子縁組の報告は、特に懸念を引き起こします。ウクライナ当局の報告によると、ロシアは15万人以上の子供たちにウクライナの東を離れ、ロシアの養子縁組制度に入るよう強制しました。この数字は子供たちの所在に関する限られた情報に基づいていることに了承してください。ウクライナ外務省は声明のなかで、「国際人道法と人間性の基本的な基準に違反して、ロシアは国家が組織した子供の誘拐に従事している」と述べました。ロシアのメディアは、ドンバス地域のウクライナの子供たちがロシアの養子縁組制度に入っていると報じました。ヨーロッパと中央アジアの国際連合児童基金の上級地域顧問、アーロン・グリーンバーグは、この戦争中に国際養子縁組を停止する必要性を強調しました。

外交政策。米国のジョー・バイデン大統領は、現在スロバキアで奉仕しているウクライナの大使としてブリジット・ブリンクを指名する意向を発表しました。火曜日に、米国はラムスタイン空軍基地でウクライナ関連の防衛問題を議論するために40カ国以上の会議を主催します。主なアイデアは、ウクライナへの軍事支援のさらなる供給について話し合い、調整することです。一方、ロシア軍は、地上でのさらなる砲撃を目指して、東部と南部の側面に再配置されました。

ロシアは、5月初旬のベルリンからの同様の動きに応じて、40人のドイツ外交官ペルソナノングラテを宣言しました。

4月25日、月曜日にトランスニストリアのモルドバ地域の国家安全保障省が爆発しました。これは、ウクライナ沿岸を通してロシアにトランスニストリアに加わることを目的として、ウクライナとの戦争に巻き込まれる可能性があるというロシアからの脅威に続くものです。

食料安全保障。英国諜報機関は、侵入後の播種の面積が減少したため、2022年のウクライナの穀物収穫量の減少は2021年よりも約20%少ない可能性が高いことを確認しています。この状況は世界的な価格上昇を引き起こし、経済的に脆弱な国々の食料安全保障を脅かします。

ブルームバーグは、ホワイトハウスは、救援を迅速に進める手段として、ジョー・バイデン大統領が議会に送る準備をしているウクライナの軍事援助パッケージに世界的な食糧援助要請を添付することを検討していると述べています。

エネルギー安全保障。ウクライナの原子力安全への脅威は続いています。月曜日の朝、2基のロシア巡航ミサイルがフメリニツキー原子力発電所の冷却貯水池で記録されました。フメリニツキー原子力発電所のパワーユニットの安全プロトコルの違反は記録されていません。ただし、ミサイルが近接していると、全体的な安全性が損なわれます。

一方、ロシアのラブロフ外相は、核戦争の「深刻な」危険があると強調しました。

デンマークは、ウクライナの戦争で荒廃したエネルギーインフラを再建するためにエネルギーコミュニティによって設立された基金への最初のドナーになりました。

経済安全保障 イギリスがウクライナとの売買規約上、商品の輸入税を導入しない方針をお知らせしました。この方針は以前の計画に比べ、1年間早めました。輸入税に関する方針の改善は、10億ポンドの債務保障を含めたイギリスによる経済支援の一部です。この方針のおかげでウクライナからのライムギ、はちみつ、トマト缶、鶏肉の輸出に改善の影響を与えます。一方、ロシアへの盗聴や監視に使用できる設備を中心に「商品と技術」輸出禁止制裁が広がる傾向です。

文化。 ミシェル・アザナヴィシウス氏、フランスの監督がウクライナからの要求に応じて、今年のカヌ国際映画祭の開始する監督したゾンビについての喜劇映画「Z」という名を「Coupez!」に**変更**を決めました。

参考資料.

- [Russian propaganda regains strength in western Europe | .coda](#) — 戦争が始まった最初のころ弱まっていたロシアによるフェイクニュースや偽情報の拡散が今度また西ヨーロッパでは強くなっていく例を収集している毎週出版の[Disinfo Matters]

総計情報

- ウクライナ**社会政策省**によれば、戦争が始まって以来、200万人が国内避難されました。
- **現在**、843の居住区画には電気がありません。少なくとも226,000人はガスにアクセスができない状態です。
- ウクライナ検察庁は2月24日から4月26日までの間に3818人の民間人が殺害され、4000人が負傷したと**報告しています**。ただし、マリウポリ市のような激しい戦闘地域や占領された地域に関するデータへのアクセスができないため、実際の犠牲者は更に増加する見込みです。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年4月26日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約 22,100人、戦車918台、装甲戦闘車両(APV)2,308台、砲兵システム416台、多連装ロケットシステム(MLRS) 154台、対空戦システム 69台、固定翼航空機 184台、ヘリコプター 154台、軽装甲車1,643台、ボートおよび軽装ボート8台、燃料タンカー76台、運用戦術レベルUAV201台、特殊装備31台、移動式短距離弾道ミサイルシステム4台。ロシアの損失については[回ページ](#)を参照してください。